

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第2号（発行日：平成23年9月1日）

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎（TEL：04-7182-0387）

編集責任者 國方幸生（TEL：04-7184-3385）

事務所：我孫子市白山二丁目13番5号

ホームページ：http://www.geocities.jp/teganuma_trust ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/>

活動報告1（交流事業グループ）



去年に引き続き、6月に「案山子まつり」プロジェクトが発足しました。まず、最初にスケジューリング、昨年残った備品・材料をチェック、新たに準備する物のリストアップをしました。今年、初参加のメンバーに案山子の基本構造と材料の説明をして、今年はどうな材料を用意するか相談しました。去年、顔の部分をビニールボールに白い生地をかぶせて作ってもらったところ、作成は容易でしたが、背骨になる竹への取付けがうまくいかず、頭が垂れてしまう案山子が続出しました。そこで、今年はボールに代わるものはないか探していたところ、メンバーの大石さんから「土嚢袋はどう！？」という提案がありました。土嚢袋の良い点は、中に詰める物の素材や量によって形や大きさに変化がつけやすいこと、マジックで顔が描け布地のような滲みがないこと、直接竹にかぶせて縛れるので大きく頭を垂れてしまうことがなく、なにより安価であることです。良いことづくめで、今年の素材選びには大きな収穫となりました。

今年も「手賀沼流域フォーラム」のイベントの一つとして参加することになり、チラシの配布、広報あびこに掲載された結果、一般から親子での参加申込みが3組ありました。7月16日の作成日には約40人（我孫子消費者の会の方を含む）の参加で14体の案山子ができ、更に、7月18日には予定を変更して農教室の

皆さんが、チーム単位で案山子づくりに参戦しました。普段の農作業とはまた一味違う作業に最初とまどった感はありましたが、途中からは童心に帰って夢中に取り組んでいるように見えました。オバQ、アンパンマン、なでしこジャパン等、力作が8体できました。8月6日に田んぼに設置をする際に、去年も参加されたくあらかのお家>から3体の出品があり、合計で25体の案山子が田んぼに並びました。近くを通りかかった人も「何だろう？」と足を止め見入っていました。中には畦まで降りて1体ずつ写真を撮っていく人も。

8月9日の朝日新聞(千葉版)にも大きく取り上げられました。8月20日のコンテストでは、参加者57人による投票が行われ、下記のような結果になり、表彰式は後日行われます。来年からはこの案山子作りも農教室のカリキュラムに組み込まれるかも知れませんね。田んぼの周りにはしばらくの間賑やかです。

(福井教之 記)

【金賞】「外国からもいも掘り体験」(手賀沼ファーム) 7票、「なでしこジャパン」(チーム福井) 7票

【銀賞】「アンパンマン」(チーム國方) 6票、「オバケのQ太郎」(チーム原) 6票

「なでしこジャパン」(チーム浅妻) 6票

【銅賞】「あらかの河童」(あらかのお家) 5票

【第2回案山子まつりプロジェクトメンバー】

リーダー：福井教之、サブリーダー：坂巻宗男

メンバー：栗山千代子、大森正、大石浩正、七海伊久美、小田嶋洋助、永谷和敏(敬称略、順不同)

活動報告2 (環境保全グループ)

みかん山の管理

7月の台風以後、はっきりしない天気が続いています。3日の環境保全グループの作業も湿度が高く、ムシムシした中で行いました。当初の予定では、田んぼとヒマワリ畑の管理でしたが、田んぼは6日の農教室で作業をすることとし、本日はみかん山の管理に絞りました。平日でしたが、20名の会員が参加、刈払い機と鎌を持って、みかん山へ移動、早速、作業に取り掛かりました。1時間ほど刈り進んだところで、一旦休憩をとって水分を補給。また、この日は毎年恒例の高校生ボランティアの受入れ日でもありました。今年は、2名の男子高校生が参加し、大きな戦力となってくれました。11時頃には、おおむね刈り終えたのとおじさん達がへばってしまったこともあって作業終了、あの湿気の中での作業は疲れました。

根戸城址に戻って、農教室で収穫し、冷たく冷やしたスイカを皆で賞味しました。一仕事終えて野外で食べるスイカの味は格別でした。実は、毎年8月の定例会で食べるスイカをひそかに楽しみにしています。ご馳走様でした。前回の会報で満開と書いたヒマワリですが、早や枯れかけていました。花の命は短くて、ですね。

(原田 泰夫 記)

活動報告3 (農事・農教室グループ)

秋そばの播種

8月20日(土)曇り

前線の南下で前々日までの猛暑から一気に10度も気温が下がり、熱中症の心配の全くない有り難い農作業日和となりました。前半の案山子コンテストに続き、後半は秋そばの播種。紙コップに入れ分けられた小さな種を、播溝に均一に条播した後、手で丁寧に覆土、踏圧する作業をしました。しかし、畑の中央部は前日の大雨により、大変なぬかるみ状態となっており、何もつかまるものない畝の間で足をとられ容易に一步が踏み出せないというハプニングが続出しました。

一面、白い小さなそばの花が群れ咲く情景を、そして何よりそば祭りに香りの良い美味しい蕎麦が私たちの口に入ることを楽しみにしていました。

今年は東日本大震災、原発事故で田畑を失われた多くの方々のことが頭から離れず、こうして皆さんと一緒に農作業ができる事に本当に幸せに感じます。

(上原 経子 記)

【追記】 圃場面積：約10アール、種そば：茨城県金砂郷産常陸秋そば(約5kg)を使用。

『蕎麦・そば・ソバ♪』

東日本大震災のこともあり、複雑な気持ちで送ったお盆も過ぎた8月17日、けやきプラザ8階調理室に蕎麦勉強会の面々が集まってきた。この日の参加者は15名の会員中9名、何時もより少ない。夏休み真っ只中、帰省やお孫さんとのお付き合いもあろう。この日から、H.N.さんが入会した。

この日の蕎麦粉は北海道幌加内産の60メッシュ石臼挽きの「きたわせ」だ。会長から「きめの細かい、のど越しの良い蕎麦になる」との解説の後、打ち手6名が順次、高橋邦弘名人の流れを汲む「江戸流二八蕎麦」に挑戦。

蕎麦打ちにあぶれたメンバーは、手持ち無沙汰の解消策として、昨年からはじめた本会2本目の柱“男の料理”に取り掛かる。まずは、“差入れ”を確認し、イザ！買出しへ。買物は完成品から素材へとシフト。レジで割箸を人数分もらってくることも忘れない。

この日のメニューは、茄子の煮付け、烏賊ソーメン、ゲソ、胡瓜もみ、ミョウガの糟漬、枝豆等々。「蕎麦には天麩羅が欠かせない」という天麩羅名人（この会では得意技を持つ人は全部名人という）が

欠席したのが残念だ。

さて、小生の蕎麦打ちだが、均一な水回しを狙って“霧吹き”を用いた、いい香りだ。ピンポン玉程度に丸めて、耳朶の柔らかさと判断し、規定量の水を若干残して“まとめ”に入ったが固かった。水を継ぎ足したので、表面と手指はベトベト。何とか“菊練り”まで持ち込む。ホッとした気の緩みで“地延し”を飛ばし“四つ出し”の工程へ。一角が異常に伸びた変形の四角形になってしまった。無理やり“たたん”で不得手な“切り”へ。菓子空箱をこま板代りにする。短めで太さバラバラ、出来栄えをチラッと見た会長から、持ち帰りの指示。（生産者責任？）翌日、昼に食す。ポロボロになった残りは“蕎麦味噌すいとん”に化ける。これも悪くない！！

小生が蕎麦勉強会で目指すもの、それは（1）正統派江戸流の技追求（細長い蕎麦は永遠の課題）（2）播種からの一気通貫（今年は石臼で試験製粉したい）（3）十割蕎麦に挑戦（小生が腕を披露するときの売りに）の三点だ。8月20日に播いた『常陸秋そば』の収穫が待ち遠しい。（匿名さん）

『竹炭&花ハス販売奮闘記!!』

7月23（土）、24日（日）に開催された恒例の“柏まつり”でフリーマーケットに二日間出店しました。目的は竹炭製作チームや蓮田修景活動での生産物である竹炭と枯れたハス花を販売するためです。毎年、“柏まつり”の時期は「暑〜い！」と厳しい状況ですが、今年は天候異常？二日間とも、涼しい風が吹き、気温もさほど高くなり、ラッキーな出店日和になりました。

朝から晩まで、何日もかけて焼きあがる竹炭。極寒の2月に泥んこになりながらの作業の成果で、夏には美しい花を咲かせる花ハス。このような品々が手賀沼トラストの事業収入に繋がればと許可を頂いて・・・。

フリーマーケットでは、購入して下さるお客様との楽しい会話、手賀沼トラストの活動をアピールするという副産物もついてきます。以下、お客様との「へ〜」、「あら〜」の会話です。

「へ〜、知らなかった。柏や我孫子の竹で炭を焼くこと出来るのね。お部屋の空気が爽やかになり

そ〜」、「ワタシ、キョネンモ、コノスミカッタヨ、ナガシノシタ、ニオイガシナクナッタヨ」（東南アジア系の女性）。ちなみに、竹炭の商品は〔靴の中にポン！そのまま書棚・食器棚・押入れに置いて、炭の働きで花・野菜元気！（竹炭粒）〕の三種。

「あら〜、この枯れたハス、中国から輸入したのかと思ったわ」、「今、ふれあい通りの花ハスが満開です。どうぞ観にいらして下さいね。綺麗ですよ」と場所案内も。「へ〜、私にも作れる？」、「ハイ、誰でも」（作り方を説明する）。花ハスの商品は〔花ハスのドライフラワー、民芸花ハス花瓶用、吊飾り用〕の三種。

他にも色んな方々との会話が飛び交い、「来年も待ってるので是非持ってきてね」と嬉しい約束もしました。

今から来年の話？出店することが出来るなら、会員の皆様と一緒に商品作りの段階から楽しめたら、と思っております。その時は、よろしくお願ひします。

（川瀬 邦子 記）

● 8 月度 活動報告

活動日	担当部門	活動区分	参加者	活動内容
8/3(水)	環境保全 G	環境保全	22 名	・みかん山除草 (高校生ボランティア男子 2 名参加)
8/6(土)	農事・農教室 G	合同活動 農教室	48 名	・案山子の設置 (25 体)、畔周辺の除草、ナスの更新剪定、夏野菜収穫及び管理、そば用圃場に元肥を施肥
8/13(土)	農事・農教室 G	農教室	6 名	・ゴマのハザづくり (シート張り)
8/20(土)	農事・農教室 G 交流事業 G	合同活動	63 名	・そば栽培の講義、作業手順説明 ・「案山子コンテスト」「田んぼの生き物観察」実施

● 9 月～10 月度 活動計画 (活動時間 : 8 時 30 分～12 時 00 分)

活動日	担当部門	活動区分	活動内容	留意事項
9/7(水)	環境保全 G	合同活動	・そば乾燥用ハザ造り	・農教室 (講師+有志) 応援
9/10(土)	農事・農教室 G	農教室	・秋冬野菜の播種 ・ナス、ヘチマ、カボチャ収穫 ・そば : 中耕、除草、培土	・作業し易い服装、軍手等 ・暑さ対策を十分に
9/17(土)	環境保全 G	環境保全	・竹教室	
9/24(土)	農事・農教室 G	合同活動	・稲刈り、ハザ掛け (天日干し) <u>(作業は昼過ぎまでかかる予定です)</u> ・ナス、ヘチマ収穫	・作業し易い服装、軍手等 ・ <u>各自お弁当をご持参下さい</u> ・鎌を使いますので、保護者の方はお子様に十分注意を ・ <u>生育状況によって日程変更も。</u>
10/1(土)	農事・農教室 G	合同活動	・稲の脱穀 ・秋冬野菜の管理、ナス収穫 ・ヘチマタワシ作り	・作業し易い服装、 <u>脱穀作業は危険を伴います。</u> 講師の指示に従って下さい。保護者の方はお子様に十分注意を
10/8(土)	農事・農教室 G	農教室	・稲の初摺り、秋冬野菜管理 ・ラッカセイ、ナス収穫	・作業し易い服装、軍手等
10/17(月)	農地保全 G	農地保全	・圃場整備チーム研修	
10/19(水)	農地保全 G	農地保全	・圃場整備チーム研修	
10/22(土)	農事・農教室 G	合同活動	・そば収穫、ハザ掛け ・秋冬野菜の管理	・作業し易い服装、軍手等 ・ <u>生育状況によって日程変更も。</u>

【お知らせ】

ご寄附をありがとうございます。

- ・星野洋子さんからロッカーを頂きました。事務局の資料、救急箱などの収納に活用します。
- ・原勇一さんから、夏みかんを提供いただき、皆様にお買い求め頂いた売上代金 (9,700 円) を我孫子市災害復旧事業費 (一般会計) に寄附しました。
- ・遠藤理事長から我孫子市生涯学習で講演された謝金 (5,000 円) を寄附していただきました。

編集後記

試行錯誤しながら編集作業をしています。毎号、皆様に楽しみにして頂ける会報にしたいと思っています。ご意見、ご要望などお寄せ頂けたら幸いです。会報の編集をやってみたい方、大歓迎です。是非、お申し出下さい。

猛暑も峠を越え、秋の気配が感じられるようになりました。大陸の高気圧が張り出してくる頃、秋冬野菜の播種の適期になりました。大型台風 12 号が関東地方を窺っています。実り始めた稲やそばが心配です。被害がないことを祈りつつ……。 (國方記)